

地方創生支援官による特別講演



本年度、国の「地方創生伴走支援制度」採択により地方創生施策について町が支援を受けている支援官3名・出口岳人氏（総務省から出向・日本郵便地域共創事業部長）、河津豪氏（農林水産省大臣官房デジタル戦略グループ課長補佐）、新瀨瑞紀氏（財務省大臣官房総合政策課課長補佐）が来町しました。10月17日、天塩町役場にて出口支援官を講師に、町長、議長、職員、北海道（総合政策地域創生推進室主幹、留萌振興局長、地域創生部長）ら約40名が参加し特別講演会を実施。講演では「官民連携・協働のまちづくり」を主題に人口と財政が縮小する状況下での持続可能な自治体運営における活動人口創出、課題解決の手法等について説明しました。また翌日には農業関係者との意見交換、現地視察を行いました。



▲持続可能な自治体運営について講演を行う出口支援官

テトテプラスハロウィン



10月19日、サニースペース（海岸通4）で毎月恒例のコミュニティカフェ「tetoplus+（テトテプラス）」が開催されました。今回はハロウィン企画として、仮装をしてスタッフを「おどした」人々にはお菓子が配られ、小学生までの子どもには無料のホットココアも配られました。カフェ内もハロウィン風に飾り付けられ、訪れた人々は「ドラキュラソード」や「ハロウィンパフェ」などの特別メニューを楽しみました。

このほか、カフェ内ではマツサジ店の出店やアクセサリーの販売、天塩陶芸サークルによる作品販売、天塩町母子寡婦会による赤い羽根共同募金運動も行われました。



▲仮装した人もちらほら



ピアノとコントラバスのコンサート



10月20日、社会福祉会館で教育委員会主催による「てしおほっと！HOT！ミタウコンサート」が開催され、コントラバス奏者の鈴木初さんとピアノ奏者の仲鉢莉奈さんが演奏を披露しました。第1部は愛の挨拶から始まり、ベートーヴェンの「ピアノソナタ第31番より第1楽章」や「アヴェ・マリア」4曲の聴き比べなど、作曲家のエピソードを添えながらクラシック音楽に明るくくれない人でも親しみやすい構成となっており、第2部は二転して誰もが聴きなじみのある映画音楽や歌謡曲を披露。オーケストラでは主旋律をとることが少ないコントラバスの表情豊かな音色と、流麗なピアノのハーモニーが観客を魅了していました。



▲演奏する仲鉢さん（左）と鈴木さん（右）

天塩町表彰式



10月31日、天塩町議会議事堂において天塩町表彰式が行われ、受賞者に対して表彰状が授与されました。受賞者は次の方々です（功績表彰1名、善行表彰1名・3団体、勤続表彰2名）。

《功績表彰》

■横溝 茂さん

昭和59年に天塩ちびっこレスリング少年団を創設し、監督として長きにわたり自身の経験を生かした育成指導にあたり、天塩町の教育及びスポーツの振興発展に多大なる貢献をされました。

《善行表彰》

■小柳 明雄さん

多額の金員を寄附され町勢伸展に

寄与されました。

■合同会社ユースエナジー浜頓別様
多額の金員を寄附され町勢伸展に寄与されました。

■天塩地区砂利協同組合及び

天塩港湾施設利用組合様
多額の金員を寄附され町勢伸展に寄与されました。

■天塩商工会女性部様

長きにわたり「道の駅てしお」周辺の清掃・花壇整備等を行い、施設の環境整備と積極的に社会奉仕活動を続け貢献されました。

《勤続表彰》

■岸山 久美子さん

天塩町選挙管理委員会委員として、12年以上の永きにわたり、公平かつ適切な執行に貢献されました。

■満保 豊さん

天塩町農業委員会委員として、12年以上の永きにわたり、農業行政の伸長発展に貢献されました。



▲（1列目左から）吉田町長、《功績表彰》横溝さん、《善行表彰》小柳さん、横山議長
（2列目左から）《勤続表彰》満保さん・岸山さん、《善行表彰》天塩地区砂利協同組合及び天塩港湾施設利用組合様・天塩商工会女性部様 ※合同会社ユースエナジー浜頓別様は欠席



▲「ライラック」を演奏する部員らとゲストの小林校長

天塩中学校 定期演奏会



11月2日、天塩中学校体育館にて同校吹奏楽部による「第26回定期演奏会」が開催されました。第1部は今年度のコンクール課題曲である「祝い唄と踊り唄による幻想曲」や、吹奏楽の名曲「吹奏楽のための民話」などを演奏。第2部は有名な映画やアニメの楽曲を中心に披露し、「ライラック」では小林剛校長がエレキギターを携えゲスト出演するサプライズも。「アナと雪の女王」「となりのトトロ」では天塩高校吹奏楽局が加わり、厚みを増した演奏で盛り上げました。部員6名という小編成ながら、1人ひとりの丁寧な演奏から日頃の練習ぶりが窺える演奏会となりました。

在住外国人 との交流



11月6日、町内に在住し就労している外国人36名が参加する研修交流会を、てしお温泉「夕映」にて開催しました。研修会では公益財団法人北海道結核予防会の講師より「結核の予防」について、天塩警察署から「防犯と日本のルール」についての説明受けました。また、日本語を学習するゲームも体験。交流会では、吉田町長、町議会議員、町民も参加して、各自、手巻き寿司を体験しながら会食交流を行いました。



▲手巻き寿司を体験・見学する在住外国人の皆さん



▲セレモニーでの記念撮影

北海道日本ハムファイターズは、2023年から10年をかけて道内すべての市町村をファイターズ選手全員で応援する「北海道応援大使プロジェクト」を実施しています。11月9日にエスコンフィールドエゾKAO（北広島市）で行われたセレモニーでは、留萌・宗谷が来年度の対象地域となることが発表されました。セレモニーには管内市町村の小学生らが招待され、天塩町からは穴戸晴哉さん（6年生・羽幌フェニックス所属）が参加。秋季キャンプの見学や選手とのフォトセッション、サイン会などを体験しました。来年度から留管内で様々なイベントが開催される予定ですので、続報をお待ちください。

ファイターズ応援 大使プロジェクト



非常用持出袋 を配布



11月9日、天塩町女性防火クラブ（中村和子会長）は、町内に在住する75歳以上の一人暮らし世帯に非常用持出袋を配布しました。非常用持出袋とは、防災用品や貴重品など避難に必要なものをあらかじめ収納しておき、緊急時に素早く持ち出して安全に避難できるようにするためのものです。クラブ員らが毎年手作りしています。当日は中村会長以下8名が参加し、18世帯に防火を呼びかけながら配布しました。



▲活動に参加した女性防火クラブ員ら



▲講演に集まった町民ら

11月9日、ふれあいセンターで「糖尿病を知ろう（Q&A）」が開催されました。昨年度、3回にわたり開催され好評を博した講演会の4回目にあたり、町立病院の糖尿病内科出張医である統木淳氏が「糖尿病って遺伝するの？」をテーマに講演を行いました。糖尿病の基本的な知識のおさらいに始まり、遺伝には変えられない遺伝（DNA）で受け継がれた要素と変えられる遺伝（生活環境）があること、我慢することだけを考える食事療法ではなく食事を楽しむ方法を考えること、健康づくりも仕事と同じように「目標と期限」を明確にすることで成功へ近づけることなどを説明し、密度の高い内容に参加者らは関心を寄せていました。

糖尿病を 知ろうカフェ

